

年度	平成16～18年度
----	-----------

基本目的 9 行政機能が高くなる

行動目標 9-1 社会ニーズに対応した行政運営を行う

(所管課名 楠総合支所振興課)

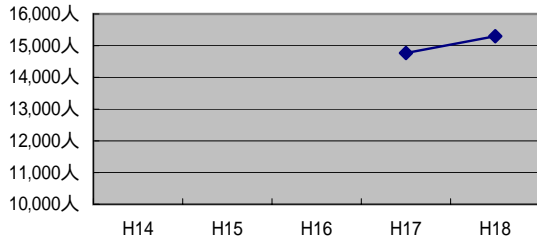
任務 市民と協働して地域づくりを進める

任務の成果・活動指標の推移

地域活動参加者数

H14実績	——
H15実績	——
H16実績	——
H17実績	14,770人
H18目標	15,300人

地域活動参加者数



指標の説明

市民と協働して地域づくりを進める指標について、合併後の地区協議会及び自主防災組織が実施する活動・防災訓練の参加者数を掲げた。

任務に対する評価

これまでの取組と成果、手段の妥当性

平成16～17年度

平成17年2月7日の合併を契機としてこれまでの行政主導のまちづくりから住民主体のまちづくりへのシフトを行っている。平成17年度においては、楠地区まちづくり推進会議及び楠地区協議会を設置するとともに、楠地区自主防災組織連絡協議会を設立した。

合併前から実施していた地区特有の事業(健康ふれあいフェスタ・桜まつり)については、引き続き実施できるように支援を行うとともに、合併協議会の取り決めに基づき、住民主体の自主・自立のまちづくりへのスムーズな移行のため、自治会活動への支援(平成16年度補助金の8割)も行った。

合併に伴う制度・仕組みの違い及び新市建設計画の説明並びに今後のまちづくりについての意見交換のため地区懇談会やアンケートを実施した。

これら取組の結果、住民主体のまちづくりを進めるための組織体制は整った。また旧楠町時代から続いている事業や活動についても、大きな問題なく継続して実施され、市民と協働した地域づくりを進めた。

平成18年度

平成18年度は、引き続き楠健康ふれあいフェスタ、桜まつりに対して支援を行うとともに、自治会活動への支援(平成16年度補助金の6割)も行う。

安全・安心なまちづくりの観点から、老朽化した楠避難会館の改築を行う。

地区懇談会やアンケートを実施し、地区住民の合併やまちづくりへの意識の把握を行う。

行政主導のまちづくりから住民主体のまちづくりの基盤整備を進める。

これからの課題、施策等展開の方向性

合併による経過措置により団体等への補助金が減額され最終的には廃止されることから、地域活動が停滞する恐れがある。

まちづくりの組織体制は整備されたが、今後は地区住民が自らの地域課題を把握すること、行政として住民と行政との役割分担を明確に住民に説明することにより、楠地区における行政と住民との協働によるまちづくりを進める。